第６回　南九州市議会議員定数及び報酬等調査特別委員会　会議録

令和８年８月 17 日(月)
議　場

（開会　13：00）

１　市民と語る会について

○米満委員長　第６回南九州市議会議員定数及び報酬等調査特別委員会を開催いたします。会次第に従って進めてまいります。まず、会次第１市民と語る会についてを議題とします。資料の協議事項３を開けていただきたいと思います。

市民と語る会協議事項３計画案がそこにありますけども、期間が８月下旬から９月、これは前回も決定をしております。時間についても、午後７時 30 分から８時 30 分、前々回、これも決定をしております。オンラインにつきましては、午後２時から３時ということで、これも前々回決定をしてるところでございます。

３番目の会場ですけども、前回決定してるものですが、頴娃地区が頴娃文化会館が８月 31 日、これが総務常任委員会。別府地区公民館が９月 14 日、文教厚生常任委員会。上別府地区公民館が９月 14 日、産業建設常任委員会。次に知覧地区ですが、知覧地区公民館８月 26 日、文教厚生常任委員会。霜出地区公民館が８月 26 日、産業建設常任委員会。松山地区公民館が９月７日、総務常任委員会でございます。川辺地区ですが、勝目地区公民館が９月 15 日、総務常任委員会。それから、川辺文化ホール、これが９月 18 日、産業建設常任委員会。清水地区公民館が９月 18 日、文教厚生常任委員会。これについてはもう皆さん承諾をいただいてるところでございます。

オンラインについてですね。また、オンラインをすることは決まったんですけども、どこでするというのは決まってませんでしたので、オンラインを新庁舎１階会議室、９月 29 日、全員ということでありますが、これについて皆さん方ご意見はありませんか。よろしいですか。

（「なし」との声あり）

オンラインのですね。運営について、西山議員、村方議員、しい議員が中心になってやってるわけですけども、これについて皆さん方に説明することがあればですね。説明していただきたいと思います。

○村方委員　お疲れ様です。令和８年７月 17 日金曜日にですね、３議員で一応オンライン実行委員と位置付けてですね、打ち合わせをさせていただきました。

まず全体的な話でいきますと、オンライン開催するに当たって、対面式とは違った独自のルールを定めることが必要であると同時に、対面開催と連動させる部分がまた必要であろうというところが出てまいりました。

今回の特別委員会で報告するものと、こういったところを協議したいというところをですね、いくつか持ってきておりますので、順を追って少々お時間いただきます。

まず参加者募集についてはですね、もう始まっておりまして、現在本日時点で１件申し込みが入っております。これは、７月の既にもう議会だよりが皆さんの手元に行った８月５日の夕方時点で１件予約が入っておりまして、こちらでも分かるようになっておりますので、こんなふうにですね、どんどん話を進めていき、市民の皆さんに周知していけば、１つずつでも入っていくのではないかと思っております。ここは報告でした。で、Zoom独自のことについて、いくつか出していきます。まずZoomはですね、カメラで自分の顔を映す、また映さないという選択ができることになってるんですが、ここについて協議したいです。

私どもの提案としては、３人で話した提案としては、参加者にお任せするということでしていきたいなと考えております。理由は制限できるものではないといったところをはじめ、いろんな部分がありましたので、そういったところでございます。あと、まだ車で移動中だったりとか、本当は望ましくないんですけれども、相手さんの事情に任せているというところです。

でもう１つ、Zoomはですね、録画をすることができます。開催中はですね、ずっと録画をすることができるんですけれども、私たちの提案としては、録画をします、記録をしますということを提案します。

そのためにですね、Zoomに入られた方々が抵抗があるという方もいるかもしれませんけれども、ここはですね、市民と語る会の協議記録ともなってくる部分なので、これは録画保存が必ず必要であるというふうに提案、こちらで意見が出たところでした。まだ結構ありますので、ちょっと話していきます。逆に参加者側がですね、撮影や録画をする場合についてというのは、議員についての撮影は許容範囲なんですが、一般参加者、他の参加者が、どんな人がおったろうとかいって録画したり、撮影したりということは、いろんなリスクを伴うので、そういった部分についてはこちらからの案内としては禁止するというようなことを提案いたします。

続けていきます。またこういうふうに、市報でもですね、南九州市LINEでも情報を発信してるので、メディアの申し込みがあるかもしれませんので、そこについてはメディアの方にも平等に参加を受け入れていくというふうにしようと思っております。

またですね、今、そういった設定的な部分のルールにはなってくるんですけれども、実際にZoomをやるに当たって、いくつかまたここも提案したい部分があります。

まず、当日役割分担が必要になってくるんじゃないかということで話が出ました。例えば司会者がいたり、進行がいたり、回答がいたりというところ、あと挨拶をする方ですね。あと全体をくまなく管理する方ですね。チェックする方、通信状況とかそういった部分をチェックする立場の人が必要になってくることから、役割をですね、こちらでこういった役割がいいんじゃないだろうかというところで提案がございます。

例えばですね、開会の挨拶を米満委員長、閉会の挨拶を鮫島副委員長、説明者はZoomに慣れていて、使用経験も非常に豊富なしい議員がいいんじゃないだろうかで、説明をする方に関しては、資料を作成いただいた西山議員と山下議員がいいんじゃないだろうか、あと全体のZoomの動きを確認しながら、いろいろチェックする担当として村方と日置議員が適切じゃないだろうか、で、質問の回答があった場合は、その他の議員で対応していくということが望ましいかと思い、そのように提案させていただきます。

また、当日までのスケジュールなんですけれども、９月 29 日の本番に向けて、参加者に対しては９月 25 日に Zoom の入室の URL を送るメール送信日とさせていただくつもりですが、それまでに１回ぐらいはリハーサルが必要なんじゃないかと考えておりますので、８月中旬以降、９月 25 日の頃までには１度 Zoom のリハーサルができたらいいなと考えておりますので、これもまた提案でございます。

また、今で決めておく部分としては、当日のスケジュールというのも大まか決めておきたいなと思ってます。オンラインについては午後２時から３時までというふうになっておりますので、では 13 時に集合して、パソコンや機材などの準備をして、動作確認をした上で、しっかり始められた方がいいかと思っております。

また終了後にアンケートを取るかどうかということも、今日提案させていただきたいです。対面式の方ではどのようにされるか、ちょっとまだ把握していないんですけれども、オンラインでは参加者に対してフォーム、そのままインターネットで回答ができるような仕組みを取ることができますので、終了後にメール送信することは可能です。ここについては、対面式がアンケートを取らずに、オンラインの方でアンケートを取るということが可能なのかどうか、そこも含めて協議したいなと思っておりました。私から以上です。

○米満委員長　今、村方委員のほうから説明がありましたが、これについて皆さん方からご意見はありませんか。

○日置委員　今ご説明いただいた提案の内容というのは、項目としては何項目ありましたかね。私が今数えたのは、顔出し自由の話と、議会側は録画するという話と、参加者の撮影は禁止にするという話と、メディアは受け入れるという話と、Zoom の役割分担があるという話と、Zoom のリハーサルが必要だという話と、集合は 13 時にしたいという話と、あとはアンケートをどうするかという話と、８項目あったかと思うんですが、漏れがあればお示しいただければありがたいです。

○村方委員　日置議員がおっしゃるとおり、８項目です。

○日置委員　そしたら、Zoom の役割分担につきましては、提案者以外でいったら、米満委員長、鮫島副委員長と私の３人が関わっていると思うので、この３人が OK すればいいと思うので、少なくとも私は OK です。

○米満委員長　一応、村方委員の方からは８項目を提案されたということでございますが、皆さん方、ほかにありませんか。意見は。

○村方委員　　項目が多いので、もしよければ 1 つずつ、そんなに時間かからないと思うので、潰していくというので、いかがでしょうか。

○米満委員長　この中で、参加者の顔を出してやるのかというのもありました。これについては、参加者の考えじゃないかなと思うんですけども、それについて皆さんどう考えられますかね。顔出しでやるってこと。

○蔵元委員　今、村方委員の方から説明がありましたけれども、一般的にはそういう考えでいいのかなというふうに思いますので、もう賛成です。

○米満委員長　提案のとおりでよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○米満委員長　録画をしますかというのがありました。これについてはどうですかね。

（「異議なし」との声あり）

それからですね、メディアの申し込みは拒否しないと、可能ということもあったみたいですけども、これについてはどうですか。いいですか。

（「はい」との声あり）

それから、役割分担についてもう１回言ってください。

○村方委員　提案です。役割分担について、開会の挨拶、米満委員長。司会進行、しい委員。説明者、西山委員、山下委員。閉会の挨拶、鮫島委員で、全体の Zoom の動きやチェックなど、スイッチャー的な立ち位置に村方と日置で、今呼ばれなかった方が、質問の参加者から質問が来た時の回答者として控えていただくが提案内容です。以上です。

○米満委員長　説明がありましたけども、皆さん方何かありませんか。

○日置委員　恐らく米満委員と鮫島委員と山下委員と私が OK であれば、OK なのかなと思うんですが、まず私は OK だと思います、というのが１つです。

あと、すいません。１つ確認させてください。質問に対する回答者が残りの委員ということは、この中で言うと、司会であるしい委員とシステムチェックをする村方委員と私のこの３人は、逆に言うと裏方と公平中立ということで、残り 15 人が回答するという理解でいいんでしょうか。

○村方委員　日置委員のお見込みのとおりでございます。

○米満委員長　ほかにはないですか。これについても、引き受けたらそれでいいということであると思います。指名されて駄目というわけにはいかんから、私も賛成しますけども、鮫島委員はどうですか。よろしいですか。

（「はい」との声あり）

それから、その内容についても、山下委員、いろいろ出ましたけれども、皆さん方よろしいですかね。

○吉永委員　今、日置委員が言われた担当以外の 15 名、これも質問の回答で、その質問者から求められた委員が回答するのか、その都度の質問で誰が回答するかは、ある程度決めなくていいんですか。結局その雰囲気で誰がその場で答える形でいいんですかというのが１つと、あと先ほどありました開催中の録画。こちら記録のために録画するで、参加者は録画できませんというのは、もう事前にその QR の時にそういった形でお示しするのか、開催された時に、この会は参加者は録画できませんよというのはお伝えするのかをちょっとお聞きします。

○村方委員　回答者については、もしこの内容で皆さん提案内容を承認いただいたら、またさらに詳細を詰めていきたいなと思います。確かに、質問した方にもよるのかなと。例えばこの方だったらこの方でと、本当は良くないかもしれないんですけれども、ちょっとケースバイケースになってくるかなと思うんですけれども、どんな質問が飛んでくるか分からない以上は、ある程度全体的に網羅、皆さんも経験を踏まえて、しっかり答えられるような体制が必要なのかなと思います。

ただ、傾向としてもう何となく分かっている時期だと思うんですね。９回の市民と語る会の後なので、なので、承認いただいた後に、もうちょっと中身を詰めていきたいなと思っています。

２つ目の、先ほど参加者による撮影や録画についての部分のお話だったと思うんですけれ

ども、ここはですね、参加者が全部確定した時点で、参加用の ZoomURL を皆さんに対してメールで送るんですけれども、そこに記載したいというのと、あと Zoom 開始の時に司会者の方からそのように伝えたいなと考えているところでございます。

その際に、こちら側が撮影するということも通知が行くのと同時に、録画しているということは一言伝えてもいいのかなと考えているところです。以上です。

○米満委員長　村方委員の方から説明がありました。これについて何かありませんか。よろしいですか。もう聞いてすぐというわけにはいかんだろうけど、意見があるように出してください。ここで決定するんじゃなくて、一部聞いてですね。また次回の時でも、これはどうかと、恐らく言われていますので、なかなかこうして把握できてないところもあるんじゃないかなというふうに思いますので、その辺は後日また、分かれば、これはおかしいのではないかとか、こうやった方がいいんじゃないかと言われればですね、出していただきたいと思います。

リハーサルを 1 回やったらいいんじゃないかということがありました。これはいつの中旬にしたか。８月の中旬、今日、８月を過ぎているから、９月ですかね。

○村方委員　一応８月中旬以降としてたのは、この協議が行われたのが 7 月 17 日に行われていて、ここぐらいからじゃないかと思って、８月の中旬以降としたんですけれども、現状、８月の中旬から下旬というのは難しいので、９月に入ってからオンライン市民と語る会を実施する前までに一度はと思うんですけれども、あまりにも直近でやるとちょっと厳しい部分もあるかと思うので、できれば９月の 25 日ぐらいまでに１回できればいいなと思っています。

もし１回で足りないということも考えると、９月の初旬から中旬どこかできないかなというのが考えているところですけれども、この辺は皆様の意見もお聞きしたいところです。

実際リハーサルをやったとしたら、２時間ぐらいは使うんじゃないかなと思っております。準備に１時間、実際やるのに１時間といったところじゃないかと思います。

準備は全員が全員というわけではなくてもいいとは思うんですが、なるだけ全員でやった方がいいと思います。以上です。

○米満委員長　一応リハーサルをですね。９月の中旬から９月 25 日までにやりたいということですが、皆さんどうですか。よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○しい委員　あのオンラインの協議チームに入っています、しいです。29 日の２時からの語る会は、新庁舎の会議室を使ってということになりますので、新庁舎の機材を使う練習ということも必要なのかなと思います。

24 日の開庁の日は、慌ただしいと思うんですが、24 日か 25 日のどこか１時間は、新庁舎で練習させていただくということも含めて、検討した方がいいのかなと思います。

これは全議員の時間でなくてもいいのかなと思いまして、オンラインチームで先ほど名前が挙がりました役になっていただく方は、なるべく必須というところで調整が可能であれば、それで練習ということでいいのではないかなと思いまして、ご意見いたします。以上です。

○米満委員長 しい委員から意見がありましたが、これについて、何かありませんか。一応。

○南部議事係長　今、リハーサルの件で、しい委員からもご提案があったんですけど、私も新庁舎でやるべきかなというふうに今ちょっと考えて、予約状況確認しましたら、９月 25 日

の 15 時から 17 時の２時間であれば会議室の使用が可能でしたので、一応仮で予約をさせていただいております。

また正式な日程につきましては、メール等で皆様にはお伝えしたいと思います。

それより以前に、リハーサルということであれば機材としては、東別館の３階の大会議室にある大型モニターとカメラがあるんですが、それを使っての Zoom 会議になりますので、機材としては東別館の３階の大会議室を借りてすれば、一応そのリハーサル、１回目のリハーサルも可能ということで、まだ皆様との協議で、リハーサルをその前にもしたいということでありましたら、皆様またお忙しいと思いますが、皆さんが集まる９月４日の一般質問の最終日、午前中で終わりますので、午後からリハーサルというような形も、一応、東別館の大会議室は空いてましたので、そこも可能かなということでご提案でございます。以上です。

○吉永委員　もう、今係長が空いてる状況の中で、自分も一般質問の空いてる、早く終わった最終日か、それか９月 11 日の本会議終了後か、どっちかかなと思ったんですけど、集まりやすいのはですね、皆さんと思うんですが、もうその最初の機材を最初から新庁舎でするよりは、１回やってみた雰囲気の中で、先程しい委員が言われたように、２回目のリハーサルはもう機材に慣れるということで、主要メンバーというか必須メンバーと、プラスは都合のつく方でいいのかなと思うんですが、どうでしょうか。

○米満委員長　今、この会場が空いてるのが９月４日、それから９月 25 日。この両日、まあ取れるんじゃないかということなんですけども、これを利用してですね、リハーサルを２回するというような意見も出てるんですが、皆さん方よろしいですか。

まあ１回でやってくれればいいんだろうけど、１回やってみて、これで大丈夫だと言っていくには、それでもいいと思うんですけども、またもう１回やらんとちょっと嫌だなというんであれば、やっぱりこの 25 日も予約を取っとくということになるのかなと思います。

皆さん方も９月４日となりますと、もう何か用事が入っとったり、いろいろあるだろうから、それについてですね、意見を出していただければと思います。

○日置委員　結論から言うと、25 日に例えば全員参加みたいなのはどうかなということで、というのは、なぜ私は、ごめんなさい、お三方じゃないですけど、なぜそのリハーサルをするかというと、多分技術的な部分と、慣れてない方のための部分の２つあると思っていて、技術的な部分で言うと、新庁舎でやらないといけないから、25 日は多分どっちみちやらないといけないんですよ。心配すぎるから。はい。私もそれは言わなかったけども、当然そうするだろう、お三方そうするだろうとも思ったから言わなかっただけで、25 日にも必ずこれはやると、やらざるを得ないというか、だと思ってるんです。ってなった時に、もし慣れてない人のために２回必要だという話なんだったら、９月４日と９月 25 日としないといけないとは思うんですけど､25 日の１回で､残りの方は十分なんじゃないのかなとも思うんですけど、分かんないです。これはどうですか。

まだ分かんないけど、２回やる。まあ、すいません。私余計なこと言って、お三方のお考えが優先かなと思うけど、ただ私が思ったのは、考えてくださったお三方は、どっちみち２回出ないといけないんですよ。どっちみち２回出ないといけなくなるんだったら、もう１回で済ました方がいいのかなってちょっと思ったりもしました。

９月４日が良ければ 25 日はなしでいいということには、絶対ならないので、確実に 25 日

はしなきゃいけないので、だから１回で済ませ、そこはどうかなと私は思いました。25 日１回でもいけそうな気もするんですけど。

○西山委員　なんですけど、25 日に２時間使えるんですかね。２時間使えるんだったら、最初の１時間でセッティングして、残りの１時間のところに皆さんが来ていただいて、予行練習みたいな形も取れるっていうことですよね。

だとすれば、25 日は必ずということで、皆さんにもちょっと、わざわざですけど、来ていただかなきゃいけないんですけども、25 日は必ず来ていただくという形を取らせていただいた方が、２回するよりはいいのかなとは思ってはいるんですけど、これは意見ですけど。

○村方委員　いろんなところで Zoom を扱ってると思うんですけれども、ここについては、説明者のためにもというところで２回というかなとは思ってたんですけれども、そこが問題なければ、通常ですね、あまりリハーサルというのは１回で済んでいるものではあります。

強いて言うなら、説明者の方がこういった形式が可能かどうかという部分になってくるので、個別で練習も可能ではある部分もありますので、全体では最低１回必要かと思います。もう１回の分は、こういう公式的にしなくても大丈夫かなと考えております。

○米満委員長　ほかにありませんか。２回というのは、会場が４日と 25 日が空いてますよということで２回と言ったんですけども、皆さん方が 25 日２時間の中でですね、準備からリハーサルでもできるんだったら、もうそれがいいのかなと思うんですけども、皆さん方がですね、どういうふうに捉えるか。

25 日だけでいいという方については手を挙げてください。挙手してください。

（賛成者挙手）

分かりました。はい。もう挙手多数ということで、25 日１日で２時間でやるということで決定したいと思います。

それからですね、アンケートについてというのがありました。私ども、このアンケートについてはですね、やらないということで、アンケートという言葉だけですよ。やらないということで、市民と語る会を決めたわけですので、これで皆さん方の意見を出していただければと思います。

○しい委員　今回この言ってるアンケートはですね、語る会をして参加された方々が、15 人、20 人参加してくださいました。では、発表者は数名だと思うんです。２名か３名発表できても５名ぐらいかなと思った時に、参加したけども発言しなかったという方が、どういう思いで来られた、議員定数に関して、報酬に関して、政務活動費に関して、どんなご意見を持ってるのかというのを、参加されたけど発言がなかったから真意が分からなかったという結果が残るかもしれないので、参加された方全員には、A4 の半分ぐらいでいいので、「議員定数あなたはどうお考えですか」というところで、選択制にするのか、それとも自由記入にするのかというところで、３つのお題だけを聞くというアンケートになってまして、この語る会をしましょうという前に言ってました市民全体に聞くアンケートとは、全く違う趣旨だということをご理解いただきたいなと思います。

それで、オンラインチームの中では、先ほど村方委員のご提案にありましたが、オンラインの説明会に参加してくださる方には、Zoom というのに参加するアドレスになるものを送らなきゃいけないので、そのものに対して参加者全員にアンケートを付録というか、記入する

フォームがありますので、それも一緒に送付したいなという趣旨で提案をしております。で、オンラインではアンケートをするけども、じゃあ実際の対面式ではしなくてよかったのかということにならないように、まだ第１回も開催してませんので、今ならまだ間に合うかなということで、ぜひこの時間で協議させていただきたいなと思いまして、議員定数、報酬、そして政務活動費に対して、参加した市民のご意見をしっかりと紙に落としていただくというアンケートとして、伺いを立てていただきたいなと思います。以上です。

○米満委員長　今、しい委員のほうからもありましたが、ほかにはありませんか。

○村方委員　今、しい委員からもあったように、アンケートは取る方向で私たちは話、私たちというか、このオンライン委員はですね、話をしてまして、どうか対面式の方でも、そうだった方がいいのではないかと。紙を配ることで意見がそこに残るというのはですね、それもまた参加者に委ねる部分にはなりますが、そういった取り組みはあった方が、親切な市民と語る会になるのではないかと思っております。

また、それが回答を要するようなものであればですね、また皆で話さないといけなくなるとは思うんですけれども、あくまでもアンケートとして許容範囲というのがあると思いますし、これまでもそういった事例があるのであれば、そういうものに沿っていきたいなとも思っております。以上です。

○日置委員　一旦ちょっと現状を確認させていただきたいと思うんですが、この第３回か第４回の特別委員会で、多数決を取って、アンケートというものについては取らないとなりましたと。ただ、このアンケートが何なのかということについて言うと、無作為抽出みたいなアンケートは取らないよということで、私は決まってたと思います。だから、対面方式の語る会でアンケートを取る、取らないというのは、まだ私は決まってないというのが状況だったんじゃないかなというか、提案者もいなかったから、多分取らないという形になってたんだろうけど、というのは、もしかしたら中には、この前の多数決でアンケートは取らんって決めたでしょ、決めたということは、もう決まったことなんじゃないのかと思っている方もいるかもしれないじゃないですか。

だから、この前取ったアンケートはもう取らないよというやつ。私は、対面式のやつもオンラインのやつも、それはそのアンケートを取らないの、そのアンケートという言葉に含まれていないというふうに、多分しい委員も同じ考えだったと思います。理解してるんですが、そういう理解でよかったんですかね。

それでいいんだったらこの議論はするべきだし、いや、そういう語る会でのアンケートも含めてのアンケートを駄目だったんだよって議会がもう決めてたんだったら、それはもうここで語りようがないというか、いい悪いじゃなくて、もう決まっていることなので、だからそこの確認です。私はまだその対面とかオンラインでの会場で、アンケートを取る、取らないというのは決めてないという認識なんですが、委員長としてはいかがですか。

○米満委員長　私に振ってきましたから、また私が言うけども、この会を市民と語る会に決めたのは、アンケートにしますか、市民と語る会にしますかということを、どっちかでやりましょうということでした時に、もう市民と語る会でやろうというのは、そこに出て参加した人と話をして、そこで出たものについて、我々は参考にしましょうということで、やったと思うんですよ。

これを本当はオンラインだから、こうだから何が何だこうだからと言ったら、もう全部広がってしまって、どこがどこか分からなくなってしまいますので、まあ日置委員が言ったように、私もちょっと見てみますけども、アンケートは取らないということは決定はしてます。

まずはですね、この考え方をですね、何のためにこの市民と語る会にしたのかということをですね、よく理解してもらって、アンケートのことを悪いと言ってないんですよ。そこに２つのものを１つに絞ったわけですので、その辺をどう考えるかということでですね。

もうこれについてですね、私の考えはそうですけども、皆さん方の考えをちょっと聞かせていただければと思います。ちょっと待ってくださいね。

○菊永委員　今、委員長の言ったとおりだと私も理解をしてるんですけれども、アンケートを取るのか、あれは市民と語る会をするのかということで、協議をなされたというふうに記憶してるんですけれども、アンケート、前の議会でも全市民に対してアンケート調査をやったことがあります。

その回収率等については定かではないんですけれども、アンケートを取るか、市民と語る会をするのかということで、なら市民と語る会をやりましょうということで、こういうふうになってるんだなというふうに思っていますけれども、特段、委員長が申したとおりアンケートについてはもう取らないというような、そういう理解で私もいます。

○山下委員　今のこのアンケートの件ですけど、前回４年前の市民へのアンケート調査の中に、議員報酬とか定数等のが入ってたわけですよね。そういう形で今回も、その意味でアンケート調査をしますかという問題があって、もう前回のようなアンケート調査はもうしませんということだったと、私も解釈してるんです。市民の皆さんが直接前に来ていただいて、そこで説明会、市民と語る会をするわけですけど、これまでの方々も一緒で、受付をまず来られた方は一応受付をしていただきます。強制はできませんけど、受付の名簿みたいなのを机に置いておいて、そこに筆記用具も、鉛筆なりを準備をして、そこで書いてくださる方は書いてくださると思うんですね。

その時にアンケート用紙をお渡しして、受付をする段階でね、お帰りになるまでに、これも強制ではなかったですけど、書いてくださる方は書いてくださって、ちゃんと出してお帰りになったということで、１時間の中で、なかなか自分も手を挙げて質問しようかなと思ってた方が、なかなか質問ができなかったとかですね。そういった方々が帰りに、そのアンケート用紙にご自分の意見なりを書いて、提出をしてくださって、お帰りになった方もいらっしゃるので、そういうアンケートというのは、私はあってもいいんじゃないかなと思います。全体的なことをそのアンケートで調査しますか、市民と語る会にしますかという時のアンケート調査はもうしないということになったわけですけれど、対面式となったんですが、来てくださったその対面式の会場では、アンケートはやっぱり取ってもいいんじゃないかなというふうに思うんです。ただし、これは強制はできないので、書いてくださる方は何らかの形で書いてくださるでしょうし、私はそういうふうに解釈をしておりました。今回のその対面式のところでは、アンケートは取らないよというふうな決め方ではなかったような気がしています。私は以上です。

○しい委員　アンケートという言葉が誤解を生んでるような気がするので、先ほど私がお伝えしたのは、「参加者ご意見用紙」と言います。参加された方が、発表者以外も何か気持ちを

持っているはずなんです。でも、それを発表できなかったら、じゃあ聞けなかったよねということになるので、せめてやっぱり山下委員が言われたように、記録として残す、回収するということは必要ではないかなと思って、参加者のご意見を紙でいただくというのを、任意で準備した方がいいのではないかなと思います。

なぜこれを言いますかと言いますと、３委員会で３会場ずつ実施した後、今後何が想定されるかと言ったら、報告をしなきゃいけないと思うんです。

市民が集まってくださった市民はこういうご意見でしたというのが、発表した方の意見しか発表できないというのが現段階の状況だと思うんですが、記録式の参加者ご意見を紙ベースでも収集できましたら、それを基に発表された方と照らし合わせて、もう少し分母を大きくした形で、市民の声ということで協議する材料が揃うことになりますので、参加された方々全員からは任意という形で紙ベースでご意見を賜るという機会は、残した方がいいのではないかというご提案になります。以上です。

○村方委員　一番最初の私の説明、提案説明がちょっと分かりづらかったなという、今、しい委員が言われたように、アンケートという言葉がですね、全く性質の違うものを指しておりましたので、今、しい委員が言われた「参加者へのご意見用紙」というような表現が近いもので、私もアンケートを取るか取らないかで、その説明の中で、オンラインの方だけアンケートを取るというふうに決めてしまって、リアルの方でそのアンケートを取らないというのは、ちょっとずれが出るよね、というようなことを私申したと思うんですけれども、それは、前の委員会で話した市民と語る会のように、その全ての項目をアンケートで意見を取るというようなものではなくて、あくまで参加した方々に対して、どう思いますか、またはこの会はどうでしたか、というような意見を取る紙というのは、ある意味皆さん、こういった市民と語る会とか対面式のセットの標準装備のものではないかなと考えていることから、今回、あえて提案してるんですけれども、ここは全く多分性質が違うもののお話になっているので、この市民のご意見用紙というものは必要ではないかと思いますので、再度この場で提案させていただきます。よろしくお願いします。

○蔵元委員 今説明していただいたとおりだと思います。我々が何でも発表会とか言ってね、今日の会に参加してご感想どうでしたか、というぐらいの聞き方はして当然のことであって、例えばさっき言ったように、いくらですかとか、多いですか、少ないですかとかというのを聞くものじゃなくて、今日の会の印象をどう感じられましたか、というような意味合いでのアンケートはあってもいいのかなというふうに思います。

○米満委員長　今、ペーパーレス、ペーパーを使わないということが増えてきてるわけですよね。こうやって来ることについては何でも問題ないと思うんですよ。ただ、この市民と語る会をすると、アンケートは取らないということで、最初は引っ張ってきてるもんだから、その辺はですね、どういうふうに考えるかということだと思うんですよ。こじつけて言えばこじつけちゅうばおかしいですけども、ずっとやっていけば、こうやったらいいよねとなるかもしれません。その辺もですね、皆さんがアンケートでも、アンケートでいいですよね。アンケート取ってもいいんじゃないかというのがあればですね、このオンラインに限らず、この各会場中で開かれる、この語る会についてもですね、アンケート的なものをするのか、オンラインだけでという感じにいかないと思うんですよ。普通やるんだったら、そういうこ

とも加味してですね、皆さんがどう考えるか、もう１回皆さん、黙ってる方なんか話をしてください。何かありませんか。なければ、ここで決を取ってですね、もう取るか、アンケートをするかしないかというのをやっていってもいいのかなと。今度ですね、８月 26 日が初日なんですよ。だから、それに合わせ、もう今日はこれを決めとかないといけないということになります。

○吉永委員　それこそ日置委員が言われたように、要はその市民と語る会の内容についてのご意見なので、そこにいくつも項目じゃなくて、今回参加した理由、これまでも市民と語る会でやった形式がありますよね。今回何で知りましたかという理由と、参加してどうでしたか、その内容についてどうであったかというぐらいの３つぐらいでいいんじゃないですかね。例えば先ほど言われた、しゃべりたかったけどしゃべれないというのは、何かご意見があったらというところに書かれるわけですよね。１つ１つ今回説明した中の内容について何かご意見は、という形にするのか、それぐらいでいいんじゃないですかね。そういった形のご意見というか要望であれば、この何を何までって、この次もう１回開いて、アンケート内容の雛形を作ってこれでどうですか、皆さんって諮るよりは、もうここで決めた方がいいんじゃないですかね。

○村方委員　私がですね、今、吉永委員が言われたようなアンケートを考えてまして、自分が考えたのはですね、Ｂ５でも Ａ４でも 1 枚の紙を用意していただいて、「感想やご意見をお聞かせください」。１議員定数について、２議員報酬について、３政務活動費について、４その他、程度のものでいいのではないかと考えております。

それであれば、今恐らくそれぞれ頭の中でイメージされているものが、次出てきたとしても、あまりこう議論をするほどの内容にはならないのかなと。また、自由度もですね、あっていいのかなと。なかなかチェック項目となっていくと、その人それぞれの基準というのが結構違ったりしてですね、大変良い、まあまあ、弱いとか、ちょっと難しい部分があるので、私が考えていたのは、「感想やご意見をお聞かせください」で、あと自由意見をその項目ごとに設けるものでありました。いかがでしょうか。

○米満委員長　他にありませんか。ごちゃごちゃ確認じゃなくて、今の先ほど冒頭で、こういうことを言いたいんだけど言えなかった人がいるということであれば、単にご意見を書いてくださいと、もうそんぐらいでいいんじゃないですかね。その中にいろんなことをその人が書くんじゃないかなと、私は思うんですけども、皆さんがどう取るか分かりませんけど、それだと、一応、この内容についてはまだですけども、このアンケートを取るか取らないかということについて、どうですか。

○日置委員　OK です。私はアンケート取った方がいいと思うし、決を取るのも賛成なんですが、それこそ第３回の特別委員会の時に、アンケートというものに対するこちら側の共通認識がない中で挙手をしたから多分人によっては一度決めたこととなってるし、私としてはまだ決まってないと思ってますけどね。なので、内容について、もし委員長が挙手で採決を取るんだったら、例えば村方委員が言ったようなアンケートで、というような取り方、後からこんなのと違ったとなっても、それはこんなアンケートのつもりじゃなかったとなったら、また遺恨が残ってもいけないので、だから、例えば、今委員長がおっしゃったような、もうその項目を作らないで、１つ大きい四角ボックスを置いて、「意見はございませんか」という

アンケートを取るとか、決を取るのであれば、できるだけそのアンケートの内容だったりと、具体的にこういうアンケートを取りますかで、決を取ってもらった方がいいのかなと私は思います。もちろん他のやり方もありますよ。アンケート取りますかと決めてからまた内容を決めてもいいですけど、どっちでもいいんですけど、その結局、口頭でやってるから、何を取ってるのかというのが分からなくなりかねないというか、と思います。あとはもう議事運営の議事進行なので、すいません。

○米満委員長　アンケートというか、意見も聞くということだろうと思うんですよ。最終的には。であれば、もう書かない人は書かないと思うんですよ、きっと。だから、書く人は書きますよ。「私はこう思っとったんだけど」というのを書くと思いますよ。だからもう単発でですね、「ご意見はありませんか」とか、今、村方委員が言いましたように項目を決めてですね、やるのか、もうどっちかに決めないと、もうこれをずっとやってても一緒じゃないのかなと思ってますけども、こちらの方で何か意見ありますか。

○川畑委員　この日の会は 60 分ということで、時間振りをずっとしてあるわけですが、その中で、今言うようなアンケートを記述式のものでずっと書いてもらうとなると、またこの時間帯を割いての時間というのも、やっぱりそういうアンケートを取るのであれば、その辺のところを何分かは確保してあげるということが必要にはなってくるんじゃないかなと思う。さらに、これがまた 60 分が 65 分になり、70 分になりとかいう形で延びていく可能性がありますので、やはりそこのところを考えた上で、その取る取らないを決めた方が私はいいと思うんです。実際そういうものを考えた時に、今おっしゃるしい委員やら村方委員がおっしゃることは理解できるんですけれども、やはりその時間的なものを考えた時に、もう一度その辺は考慮すべきじゃないのかな。60 分が終わってから５分程度伸ばして、会場を片付ける間に書いてくださいというようなことを言ったことをまた書いてもらうのか、それとも言わなかったことを書いてもらうのかという、それのまた説明も出てくるだろうし、なかなかどうなのかなという今疑問に思ってるところです。

○しい委員　私はオンラインチームにもいますし、資料を制作するチームにもいまして、口述書を作成するに当たって、開会の挨拶、そして説明で 30 分というタイムスケジュールを想定しております。市民とのセッションというところが、30 分弱、20 分から 25 分かなというところになりますので、スライドを使って１つ１つの項目を丁寧に説明していきますので、最初来られた時にアンケート用紙をお渡ししていれば、聞きながら記入も可能かなと思います。それが難しい方は、最後終わってから書かれるかなと思いますので、書ける書き物があって、書ける場所があるのかというところも考える必要があるのかもしれないんですが、筆記用具は準備をするというところだけをクリアするのならば、聞きながら書けるというものが理想かなと思います。

　私は、その定数とか報酬という漢字を書くことも面倒くさいなと思う方もいらっしゃるかもしれないですから、村方委員が言われた３つは一応文章としてあって、「その他ご意見がありますか」という形で４つぐらいの質問にしていたら、書く文字も少ない中で、ご意見を伺えるのではないかなと思いますので、質問は４つぐらいあった方がいいかなと思います。以上です。

○取違委員　なんか今聞いてますと、オンラインでやるのに傍聴者がいるような感じの、そ

のアンケートというような感じになってるので、ちょこちょこっと違うんじゃないかなということを、皆で共通で理解した方がいいんじゃないかと。あくまでも、オンラインで参加している方々に対して、そのアンケートというか、そのご意見書というか、そういう形を取るということですよね。

○上赤委員 今の話を総合的に聞いて、私、９回の会場でやりますよね。９回の会場含めて、今いう話をしてるところだというふうに聞いて理解してるんですけど、そういうことですよね。そういう認識の中で、であれば私は、先ほど出ましたけど、しい委員がおっしゃるような形で、話を聞きながら途中でメモできる程度、その他で何かあれば書いてくださいよ、という程度のものを、全ての会場でお願いするということだというふうに理解してましたけど、それで私はいいと思ってます。以上です。

○米満委員長　会場によってはですね、椅子だけのところもあると思うんですよ。この紙を持ってこうこうこう書けるかなというのもありますけど、手があれば、ぱっと今聞きながらですね、１時間の時間内で書いていくということもできるのかもしれないんですけどね。その辺はどうなるか、これにちょこっと時間かかりました。

まずアンケートを取ることについて、どうしますかということに聞きますよ。

アンケートを取るということについて賛成の方、オンラインと会場ですね、市民と語る会９か所について、アンケートを取るかということについてですね。取ってもいいという方は挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

はい、分かりました。取っていいという、取っても取らなくてもいいという方も挙げてください。

（賛成者挙手）

はい、分かりました。

取ってもいいという方が多数ということでですね、一応アンケートを取るということにしたいと思います。そのアンケートの内容ですけども、アンケートの内容をこちらで、これとこれこれこれと決めるのか、もうざっくりするのか、どっちかだと思うんですよ。

○山下委員　その当日のテーマが一応３つに絞ってあるわけですよね。で、意見を述べなかった方も、皆さんのやり取りを聞きながらいろんな感じ取るものがあると思うんですよ。

なので、そのアンケートにわざわざ報酬についてとか、それから議員定数についての項目を設けると、やっぱりそこにまた自分の考えを書かなきゃいけないんじゃないか、やっぱり書かなきゃまずいんじゃないかというふうに取られがちなので、もう全体を通してその当日の皆さんの意見のやり取りの流れやら聞いてる中で、ご自分がどういうものを感じたか、その中でもしかしたら報酬のことについて書く人もいるかもしれないし、定数について書く人もいるかもしれないので、あえてそのアンケート用紙の中に何々についてという項目を設けるのではないと思います。その全体のその日の感想なり、自分の思いを任意ですけれど、書いていただくのが一番いいんじゃないかなと思うんですけどね。あんまりこう項目を設けると、皆さんの意見のやり取りを聞いた上に、あるいは聞かされた上に、さらに自分もまたこれを書かなきゃいけないって重荷になるかもしれませんから、もう全体的な感想を書いていただくような内容でいいんじゃないかと私は思います。

○村方委員　私はですね、その意見もいいなと思いながらも、やっぱりちょっと逆の意見も持ってて、まずアンケート用紙自体がですね、紙自体を使えるという部分で、どんなことについて注目して聞けばいいのかというのが、そこに定数についてとか、議員報酬について、政務活動費についてということを考えるきっかけの１つになるというのは、僕は大事だと思ってます。で、先ほどしい委員も言われたんですけれども、最後ですね、私たちはこの市民の意見がどんなのが出たかということに対して考えないといけないですよね。その時に、やっぱりその感想文的なものになってしまうのは、「その他」というふうにすればいいだけのことだとは思うんですけれども、これについてこう思ってるという意見が明確に分かれていた方がいいんじゃないかと思ってるのと、確かに１個１個あると、確かにこう聞かないといけないという視点もあるかもしれないんですけれども、そこはですね、一生懸命話すこちら側に対して、一生懸命ご回答をいただけるものだと思っているので、あと先ほど川畑委員からあったように、せっかく参加してくださってる方の時間は大事にしないといけないことから、これぐらいの文字をプリントした状態でお渡しするのがいいんじゃないかと思っています。以上です。

○米満委員長 今、大まかにいうと、２つの意見が出たということではないかなと思います。もうこれについてはですね、一応どっちにするかということで、採決という形でいいんですかね。よろしいですか。

これならですね、まず項目を設けてアンケート用紙を作成するという方について、挙手をお願いしたいと思います。

（賛成者挙手）

項目も設けないで、シンプルに意見を聞くという方には、手を挙げてみてください。

（賛成者挙手）

分かりました。一応、項目を設けないで、感想を聞くということに決めたいと思います。

あとまだありますので、今からですね、２時 20 分まで休憩を取りたいと思います。

それでは再開します。４番目のですね、会次第でございます。前回も修正をして決定しているわけですけども、そこにですね、開会の挨拶と５分、議員の紹介。この議員の紹介というのが新しく入っているわけですけども、また後で協議していただきたく思います。

議員定数及び議員報酬については、この政務活動費も一緒なんですけども、これについて大体説明が 25 分あります。それからその他で、もし意見があればですね、５分間ということで、閉会の挨拶ということになると思います。

皆さん議員紹介があった方がいいと考えますか。

○村方委員　あった方がいいと思っております。やっぱり理由としては、まずは挨拶からであるかと思いますし、そんなに時間を取るような内容でもないと思いますので、議員紹介、本人からでも、司会者の紹介からでもいいので、どの議員がいるということを明確にした方がいいと思います。

○米満委員長 もうこれは決を取るわけじゃないですので、皆さんそれでよろしいですかね。

（「はい」との声あり）

そういうことにさせてください。

それから、議員定数等の報酬についてもですね、また後でしますので、５番でいいのかな。５番の当日の役割分担ですけども、進行１名、説明１名、挨拶２名、記録２名ということについてはですね、もう前回に決まったんじゃないかなと思うんですけども、決めたことを、これについてですね、各委員会でですね、誰が何をするということが決まってると思うんですけども、できればここでですね、総務、文教、産建ということで、誰が何をするということを言っていただければと思うんですけども、総務の方からお願いできませんか。誰がするのか。

○鮫島副委員長　役割分担ですが、進行１名、蔵元委員。それから説明１名、西山委員。挨拶２名、鮫島と上赤委員。それから記録２名、加治佐議長と日置委員ということで、一応この前決まりました。

○山下委員　文教はですね、進行が角委員、説明が川畑委員、そして挨拶は正副委員長、開会が委員長、そして閉会が副委員長ですね。そして記録２名が内園委員と米満委員です。

○吉永委員　産建は、進行が菊永委員、説明が大倉野委員で、挨拶２名が委員長、副委員長で、記録が取違委員と副委員長となっております。以上です。

○米満委員長　ということで、この語る会をですね、進めていただければというふうに思います。

それから、準備でありますけども、そこに色々書いてありますが、これについてはですね、事務局の方で一応準備しますということを聞いてるんですが。

○南部議事係長　こちらの準備の方、事務局の方で準備して、当日は担当職員が１名は語る会の方に参加をさせていただきたいというふうに考えております。プロジェクターとスクリーンにつきましては、地区公民館等で確認を取りましたら、持ってらっしゃるところもありましたので、そういうところは、もう地区公民館の備品を使用させていただくように頼んでいるところでございます。当日の、すいませんちょっと話はまた別と言ったらあれですけど、集合時間につきまして、ちょっと協議をしてなかったので、一応こちらからと、前回、委員長、副委員長と打ち合わせをした中では、開始時間が 19 時 30 分からですので、１時間前の 18 時 30 分に集合で準備をしていただくというような形を想定しているところでございます。準備品の方はこちらで、公用車で積んで持っていく予定にしております。以上です。

○米満委員長　今、集合について 18 時 30 分と１時間前ということでありましたが、皆さん意見はありませんか。早いかとか、まだ早い方がいいんじゃないかとかあるんじゃないかと思うんですけども。一応ですね、１時間前というのはですね、市民の方よりも遅く来るということはいけないですので、我々議員が準備をした中で、市民の方に来ていただくという方がベターなやり方かなというふうに思います。

６番目のですね、事前準備です。これについてもですね、事務局の方で説明をしていただきたいと思います。

○南部議事係長　事前準備の方になります。会場使用の借用申請につきましては、日程調整等を済まして、文書で申請書の方を各会場の方に提出済みでございます。

既に各会場の方に一旦足を運びまして、挨拶と、あとは配置とか備品の確認を事務局の方でしているところでございます。チラシの作成につきましては、広報編集委員会の方で作成をいただきました内容を事務局の方でカラーで印刷したものを作成しているところでござい

ます。内訳につきましては、自治会各自治会 240 枚、９会場ありますので、会場が 10 枚ずつで 90 枚、議員の皆様に 10 枚ずつということで 180 枚、会場外の地区公民館の方にも 13 枚ということで、会場の地区公民館との打ち合わせの際に持って行ってるところでございます。

次の議会だよりの原稿作成につきましては、広報編集委員会の方で作成いただきまして、８月５日発行の議会だより第 75 号に掲載をしているところでございます。

自治会長への依頼文の作成ということで、こちらの放送文も事務局で作成しまして、８月５日に自治会発送の方で、チラシと合わせて既に発送済みという形になっております。

当日の資料についてでございます。別紙案を事務局の方で作成をいたしたものを前回お示しまして、資料編集の担当責任者ということで、担当の委員さんを決めていただきまして、７月 31 日の午前中ですね、議員控室の方で打ち合わせをさせていただいたところでございます。資料編集者の方は、西山委員、山下委員、しい委員となっております。こちらの方、お三方で特段何か報告等がございましたら、後ほどしていただければというふうに思っているところでございます。

資料の方は、当日の打ち合わせの方で作成、修正をしまして、あと説明書の口述書の方も各編集担当者の委員の皆様に作っていただいたものを合わせてですね、１つの形のものにしたものを事前メールで皆様方に送付しまして、修正等があればということでございましたが、特段なかったところでございましたので、本日資料の方に参考ということで添付をさせていただいております。こちらの方で当日、資料を説明していただければというふうに思っているところでございます。

受付簿につきましては、受付簿の方も準備中で、簡単なものを作成いたしました。こちらを当日準備品の中に入れて、会場に持参したいと思います。あとアンケートの方も先ほど決定がなされましたので、こちらも印刷をして、会場の方に持参するような形を取りたいと思います。

○米満委員長　先ほど決まりましたアンケートについては、事務局の方で準備するということでございます。当日のですね、資料について、この編集者の方で何かありますかね。何もないですか。

○山下委員　事務局の方でまず作ってくださった８枚の資料がまずございます。あと、市民と語る会の表紙に書いた文ですよね。これが７項目に分かれておりまして、項目ごとに用紙だけが簡単に書いてあるわけですよ。ただ、それを読み上げるだけでは説明にはなりませんので、別で口述書というものを作らせていただいたんですが、総務は西山委員、産建はしい委員、文教は私、山下の３人が一応編集作業に携わる者として選出していただきましたので、７月 31 日にその作業をしたわけですが、後日皆さんお目通しいただいてるものと思います。

ただ、簡単に「今の報酬は 28 万円です」というふうに書いてあるだけでは、これが根拠が何なのかですね。そういった辺りが、やはり市民の皆さんから質問をいただく前に、それぞれの項目ごとに、これはこういうふうにして決めてありますとか、他市の現在の状況はこうですよというようなことも、その項目に沿ってですね。例えば１番は趣旨、２番は現状、つまり概要、そして３番は定数の主な論点とか、８枚の資料の順番通りに、この口述書は作ってございます。

これをまず説明していただいて、それが終わった後に、皆さんからの質疑を受けるという

形になってるわけですが、説明される委員さんで、ちょっと読み方にやっぱりスピードの違いはあるかもしれませんけれども、大体 20 分から 25 分ぐらいは、その説明にかかるのではないかなと思います。

訂正すべきところとかがあれば申し入れてくださいね。何もなかったということで、今日この完成したものが皆さんのお手元には届いてると思うんですが、こういう内容でまずいいのかどうか、最終的な皆さんのご意見がいただければなと、そういうことで一応お願いします。

○米満委員長 今、山下委員の方から説明がありましたけども、この資料についてはですね、事前に皆さん方に配布してございます。読んでいただいているものと思いますけども、意見がなかったということで、これでいいのかなということでですね、思ってますけども、大体 25 分ぐらい、私もしてもかかるのかなと思いました。そう、今何か気付いたことありますかね。これでよろしいですか。

（「はい」との声あり）

もう事前に読んでくれてるものと思いますので、言いましたけども、一応そういうことでですね。これは各会場においてですね、この文章で説明をしていただきたいというふうに思います。それから、今、事前準備のところでですね、事務局の方から説明がありましたが、これについて何も意見はないですか。

○しい委員　６番に合わせて、ちょっと５番にも関わってくるんですけど、この事務局の職員が同席してくださるということで、Wi-Fi もルーターも持ってきていただきたいなと思いまして、多分、議員はこの間、iPad を持っていくと思いますので、ご準備をお願いしたいという件が１点と、あと、先ほど参加者向けのご意見を伺うアンケートをするということで決が取れたと思いますので、それがＡ４でするのか、Ｂ５でするのかというところで、それに対する白黒印刷なので、議会の経費でいいのかというのが２つ目の確認です。

あと鉛筆などがですね、事務局にあるのかどうかも含め、そこがちょっと経費としてあると思うので、そこをどうするかというところの協議が必要かなと思いまして、ご意見です。

○南部議事係長　Wi-Fi の方は持参をさせていただきたいと思います。鉛筆の方は、通常選挙用とかで何本か出すぐらいは多分あったと思いますので、そちらを持ってきていただいても、個人的にはアンケート用に用箋ばさみを持っていこうかなと個人的には考えて、アンケートにも対応ができるようにしたいと。回収箱とかですね。また準備を、ちょっと足りないもの色々あると思うんですけど、また考えながら準備の方進めていきたいと思います。以上です。

○米満委員長　ほかにはないですか。今日これのほかにその他で何かありますかね。

○角委員　スケジュールの関係、会次第のスケジュール、１時間という形でやってるんですが、ここはちょっと、私、司会進行しますので、ちょっと意識合わせをお願いしたいんですが、このとおりいく、きちっといくべきなのか、特にですね、質疑応答が 15 分ですというところをちょっと気にしてまして。15 分以内で終わればいいんですが、前ちょっと意見が色々出た時に、じゃあどこまで伸ばすかと、５分程度で伸ばすのか、いやもう前もって打ち切るのかというのがですね。あそこじゃちょっと途中まで聞いてくれたけど、こっちは時間で打ち切ったよと言われる時に、そこはあと司会者の裁量にもよりますので、それで１時間半と

いうことはないと思うんですが、状況を見て、司会進行で５分程度は延ばそうかなという気もあるんですが、いやそれもだめというのか、それをちょっと協議をしていただきたいというのはあります。以上です。

○米満委員長　その他の件についてはですね、事前に「５分で切ります」ということを先に言っとけばいいのかなと思うんですよね。そうしないと、「どうですか」と言えばずっと、この３つの項目についての意見であればいいんですけども、要望とかそういうものに入ってしまうといけないので、先に時間を制限した方がいいのかなと私は思ってますけども、皆さん方の意見があれば教えてください。

○しい議員　先ほどアンケートを取るということが決で決まりましたので、お時間が近くなってまいりました。他のご意見がありましたら、ぜひ紙に書いて、ご意見として残してください、よろしくお願いいたします、というような司会をしていただけたらいいのではないかなと思います。以上です。

○米満委員長　アンケートについてはですね、大変シンプルに書くわけですけども、事務局の方で印刷したものをするということでよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○日置委員　時間と、そのどこまで伸ばすなのか問題っていうのは、多分、司会の方の身になれば、それはすごく分かる気がするので、例えばなんですけど、7時55分に出た質問を最後にするって共通理解を取っとけばいいじゃないですか。

　これが何か「これぐらいになったら」とやると、その時の司会の方の裁量で、その司会の方が後から責められても気の毒な気がするので、7時55分までに出た質問を最後にしますよ、ということに共通理解を取っておいて、切り方としては、しい議員もおっしゃったようにアンケートもございますので、これ以降の方は、という形で言えばいいのかなと思います。

　要は時間を決めとくっていうのが大事だと。55 分なら 55 分と。いかがですか。それはデメリットとしては、ケースバイケースで、臨機応変な対応ができなくなるというのはあるんですけど、決めてた方が司会の方からすれば気は楽なんじゃないですか。55分の質問を最後にするという提案はどうでしょう。20時25分に訂正します。

○米満委員長　角議員からありましたけども、絶対５分かと、絶対はないですので、ある程度は揺らいでいくんじゃないかなと思います。それはもうしょうがないことだと思います。大体、今日の会議については終わったつもりなんですけど、何かその他で、これだけ決めとかないかんじゃないかと思ってあればですね、出していただきたいと思うんですが。

○大倉野委員　これ、何人かからですね、市民からの意見でした。チラシについて。先に言えばですね、こちらも作る以上それなりの理由があって作ってるわけですので、そのことを市民にうまく伝えられればよかったんですけども、なかなか難しいということでですね。一応、私のところに来た意見というのは、やはりオンラインのですね、29日がやはり目に入ってしまって、9月29日にあるんだろうという。ですから、「9月29日にあるんだよね」というのがあって、「いやいや、その地域ごとに違いますよ」と。結局、もう下まで見てないんですよね。もう1つあった意見がですね、できれば地域ごとに、知覧地域なら知覧地域というのもありました。なぜかというと、頴娃の人はわざわざ川辺には来ないでしょうという考え方もあるけど、そこは我々としては、広くその自分の都合のいい時に行けるということでで

すね、全てをチラシには載せましたけども、そういった意見があったということだけですね、皆さんと共有してもらって、次回、また４年後になるとは思いますけれども、あるいはまた別の機会に議会の中で市民と語る会というのを開催するに当たってですね、チラシを作るというのの参考にしたらいいかなということでですね、市民からの意見が２、３あったということで、これは報告をさせていただきます。

○米満委員長　今、大倉野委員から意見もありましたけども、頴娃の方が川辺に行くと、そういうこともやっぱりできますよということだけはですね、議員の方々もですね、どの会場に行ってもいいですよということだけは伝えていただければなというふうに思います。ほかにはないですか。

○しい委員　この９回の市民と語る会とオンラインを開催した後の青写真、流れをですね、ざっくりと委員長から示していただきたいなと思いまして。書記の担当がそれぞれいますけど、委員長報告的な感じで各委員会が報告書を上げるのかどうなのかというところが見えてない、新人議員なので、語る会をしたことがないので分からないというところも含めまして、青写真としてはどういう考えでいるのかというのをお示しいただいた方が、そこに備えて毎回開催ごとに整理をしながら進行ができるのかなと思いまして、ご意見です。

○米満委員長　市民と語る会をするわけですけども、その中には記録の方がいますので、記録をですね、まとめたものをですね、もう１回発表してもらって、そしてそれをまとめてですね、皆さんにお知らせするという会をですね、またこの会を設けていきたいなというふうに思ってますので、オンラインが９月 29 日ですので、それが済んでからですね、まとめてですね、もう１回この会を設けるということで、そして出されたものについてまとめていきたいというふうに思ってますので、それについてはまた後日、事務局の方から連絡させていただきたいと思います。ほかにはないですかね。

なければ、第６回南九州市議会議員定数及び報酬等調査特別委員会をこれで終わりたいと思います。ご苦労様でした。

（閉会　14：47）